

海岸漂着物の現状について

1 海岸漂着物の回収・処理状況

「海岸漂着物等地域対策推進事業補助金（環境省）」を活用した回収・処理事業における過去6年間の状況は下記のとおり。

年度	事業費（千円）	回収量（t）
R1	60,171	559.3
R2	88,215	642.6
R3	78,511	536.1
R4	99,494	608.1
R5	116,266	757.9
R6	99,625	794.7

※事業費は回収した物の性質等により変動するため、回収量の変動と必ずしも相関しない。

2 令和7年度福井県海岸漂着物等実態調査結果

(1) 実施概要

①調査実施日 令和7年4月18日

②調査場所 水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）

※年度ごとの実態を長期的に把握するため、毎年同時期に同一場所で開催

調査開始年度である令和2年度に、国の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づき、各市町の意見を参考に、下記要件を満たした水晶浜海水浴場を対象として選定

〔要件〕

①漂着ごみが多い

②地域住民等による清掃活動が行われていない、または頻度が少ない

③回収したごみの組成調査・運搬等が行いやすい、駐車場等広いスペースのある海岸

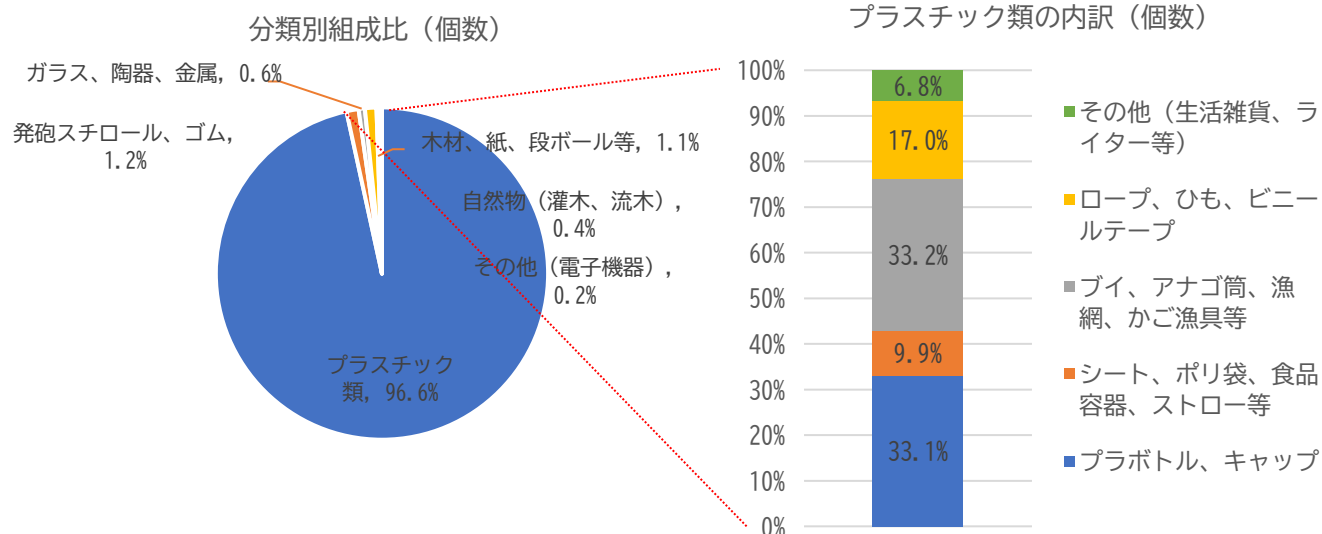
(2) 結果

ア) 海岸漂着物等の例

		
ロープ・ひも（漁具）	プラ_ボトルのキャップ	飲料用（ペットボトル）
		
アナゴ筒 （フタ、筒）（漁具）	灌木	浮子（ブイ）（漁具）

イ) 組成比（個数、容積、重量）

- ・ 個数：計 12,265 個、容積：計 10.26 m³、重量：計 1047.20 kg
- ・ 概ね令和 6 年度調査結果と同じくプラスチック類が多い。

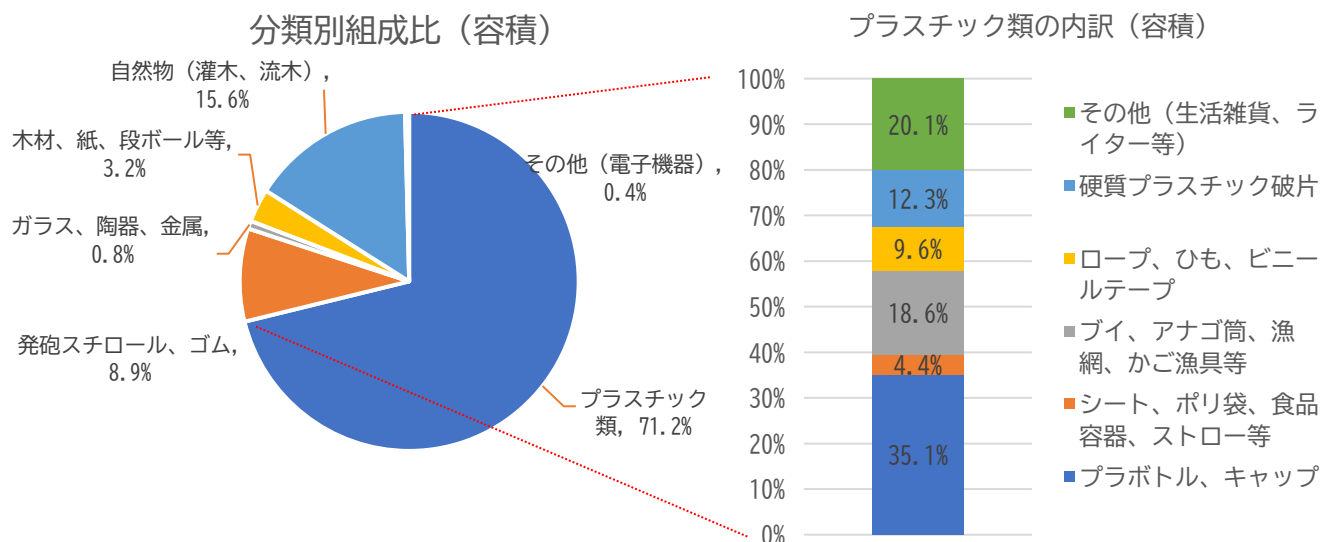


【参考】 令和 6 年度組成比（個数） 計 2,887 個

プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物（灌木、流木）
93.3%	1.4%	0.9%	2.6%	1.5%

プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	ブイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	その他（生活雑貨、ライター等）
33.4%	7.2%	12.9%	35.3%	11.2%

※ガイドラインに基づき、硬質プラスチック破片の個数調査はしていない。

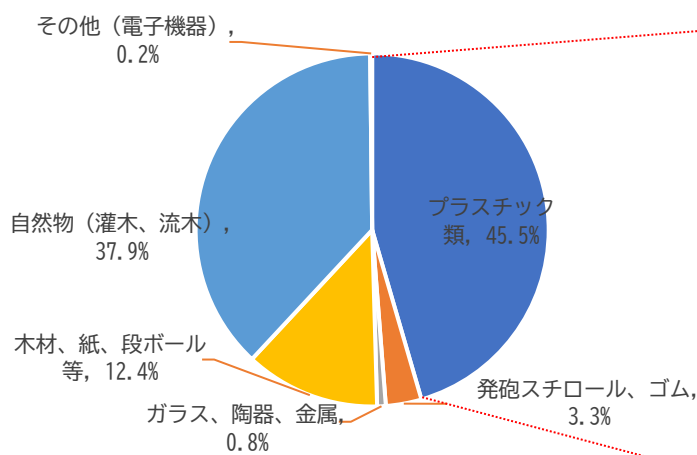


【参考】 令和 6 年度組成比（容積） 計 4.8 m³

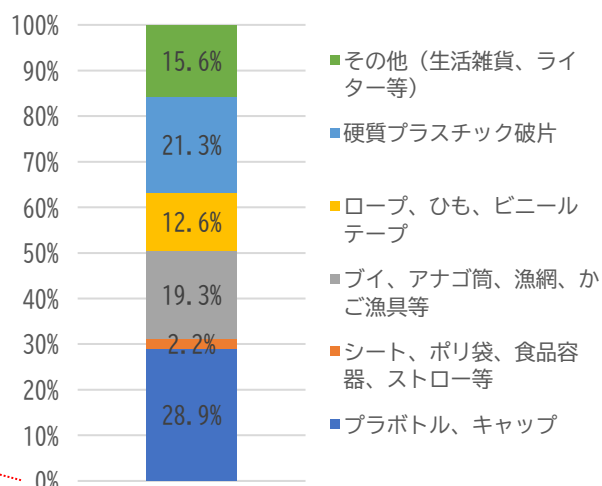
プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物（灌木、流木）
57.4%	5.2%	0.6%	6.8%	25.5%

プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	ブイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	硬質プラ	その他（生活雑貨、ライター等）
14.9%	2.9%	32.5%	14.2%	6.9%	28.6%

分類別組成比（重量）



プラスチック類の内訳（重量）



【参考】令和6年度組成比（重量） 計 611.50 kg

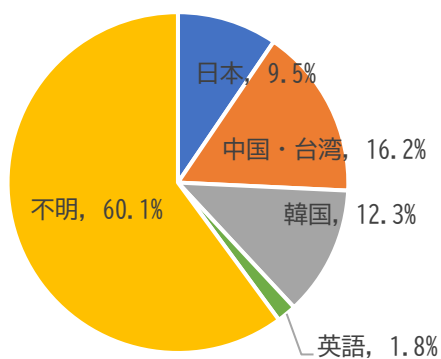
プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物（灌木、流木）
33.8%	2.9%	0.5%	16.0%	44.6%

プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	ブイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	硬質プラ	その他（生活雑貨、ライター等）
10.4%	0.8%	27.9%	24.8%	11.9%	24.3%

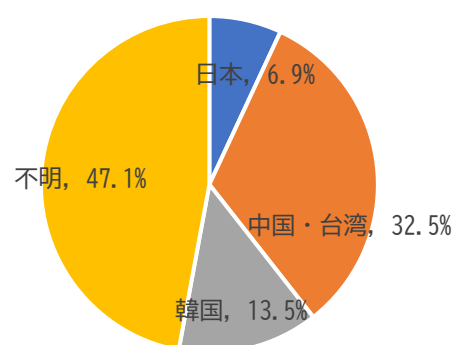
ウ）国別組成比

- ・国のガイドラインに従い、ペットボトルキャップ、ペットボトル、ブイ（浮子）の個数による国別組成を調査

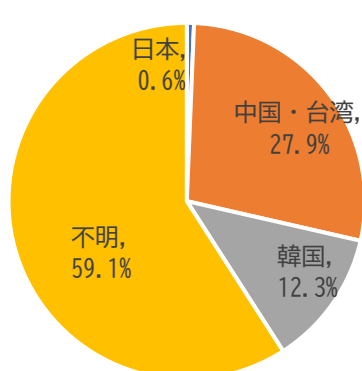
ペットボトルキャップ国別組成比（個数）



ペットボトル国別組成比（個数）



ブイ（浮子）国別組成比（個数）



【参考】令和6年度組成比（個数）

○ペットボトルキャップ

日本	中国・台湾	韓国	その他	不明
7.7%	8.5%	8.5%	0.4%	74.9%

○ペットボトル

日本	中国・台湾	韓国	その他	不明
32.5%	28.9%	13.3%	4.8%	20.5%

○ブイ（浮子）

日本	中国・台湾	韓国	不明
0.0%	19.5%	8.0%	72.4%